

氏名	舟久保徳美
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5437 号
学位授与の日付	平成 28 年 1 2 月 2 7 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	The Effects of Aroma Foot Massage on Blood Pressure and Anxiety in Japanese Community-Dwelling Men and Women : A Crossover Randomized Controlled Trial (日本人地域住民におけるアロマフットマッサージによる血圧と不安への効果：クロスオーバー無作為化比較試験)
--------	--

論文審査委員	教授 土居 弘幸 教授 伊藤 浩 教授 和田 淳
--------	--------------------------

学位論文内容の要旨

日本人地域住民において、アロマフットマッサージによる血圧、不安、健康関連 quality of life (QOL) への効果をクロスオーバー手法を用いた無作為化比較対照試験により研究することを目的にした。

27 歳から 72 歳の参加者 57 人（男性 5 人、女性 52 人）を無作為に 2 つのグループ（A : 29 人、B:28 人）に分類し、12 回（週 3 回、4 週間）アロマフットマッサージを行った。初回、4 週間後、8 週間後の検査で血圧、心拍数、状態不安、健康関連 QOL の測定を行い、これらの指標の平均値及び不安があった参加者の割合への介入効果を、参加者個人と期間で調整したクロスオーバーデザインの線形混合効果モデルを用いて解析した。自身で行うアロマフットマッサージにより、血圧、状態不安が減少し、精神的な健康関連 QOL スコアが改善する傾向があった。アロマフットマッサージはメンタルヘルスや血圧を改善するのに簡単で効果的な方法である可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、地域住民を対象としたアロマフットマッサージによる血圧と不安への効果を検証したものである。これまでアロマセラピーのメンタルストレス軽減効果やフットマッサージによる自律神経への影響、抗ストレス効果、睡眠促進等の効果が報告されていることから、これら二つを併せることによる相乗効果をクロスオーバーデザインで検証した。

本研究では、介入後、収縮期血圧の低下、不安感の改善、健康関連 QOL の向上が有意に観察された。対象者が正常血圧群であったこと、中年女性が大多数であったこと、クロスオーバーデザインでありながら、非介入群に“待機感”を与えたことなど、介入結果に影響を与えかねない事柄に対する検討を深める必要がある。

しかしながら、地域ベースの介入であること、アロマフットマッサージを簡便な方法で実施したこと、仮説の検証に今まで報告がない方法論を取り入れたことなど、疫学研究への意欲が顕著であり、視点もユニークであることは評価できる。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。